

揖斐川町教育大綱

令和 8 年度 ▷ ▷ ▷ 令和12年度

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項において、「地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定める」こととされています。

少子高齢化の進行による人口減少をはじめ、地域活力の低下や価値観・ライフスタイルの多様化など、揖斐川町を取り巻く社会環境は大きく変化しています。こうした中、持続可能な地域社会を築いていくためには、地域を支える人材の育成がこれまで以上に重要となっています。

揖斐川町では、こどもたちに対し、知（学力）・徳（豊かな心）・体（健康）の調和のとれた教育を充実させるとともに、地域の特色を生かした学びの機会を提供することで、ふるさとへの愛着を育み、地域の未来を担う人材の育成を目指します。

また、未来を担うこどもたちが地域の中で健やかに成長していくためには、そこに暮らす大人自身も学び続け、健康でいきいきとした生活を送ることが重要です。

この大綱は、こうした考え方を基本に、町長と教育委員会が相互に連携を図りながら、住民の意向をより一層反映した教育行政を推進していくため、総合教育会議における協議を経て、揖斐川町の教育の目標と施策の根本的な方針を定めるものです。

今後は、本大綱に示した方向性のもと、学校・家庭・地域が連携しながら、豊かな人間性を育み、仲間とともに学び続け、郷土を愛する人づくりを進めていきます。

令和8年3月

揖斐川町長 岡部 栄一

1. 基本理念

**豊かな人間性と自ら学び続ける力を育み、郷土を愛し、
地域の未来を担う「まちの主人公」を育成します**

揖斐川町には、揖斐川をはじめとする清流や緑豊かな山々などの豊かな自然環境と、先人たちによって守り受け継がれてきた歴史や文化が息づいています。

少子高齢化や人口減少が進む中であっても、こうした地域の資源を大切に守り、次の世代へと引き継いでいくことが重要です。

そのため揖斐川町では、豊かな人間性と自ら学び続ける力を育み、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、地域社会の中で主体的に活躍できる人材を育成することを揖斐川町の教育の基本理念とします。

2. 基本目標

基本理念の実現に向け、次の3つの基本目標に基づき教育施策を推進します。

基本目標 1

心豊かでたくましい児童生徒の育成を推進します

基本目標 2

文化芸術の振興と地域文化の保存・継承・創造を推進します

基本目標 3

生涯学習、生涯スポーツの推進を図ります

基本目標 1

心豊かでたくましい児童生徒の育成を推進します

- 一人ひとりの夢や目標の実現に向け、たくましく生き抜くための基盤となる確かな学力の育成を図ります。
- 地域の特色や独自性を生かした教育活動を推進し、地域や社会との関わりの中で、自ら学び続ける力と多様な価値観を尊重する心を育みます。
- ふるさと学習の充実を通じて、揖斐川町への誇りと愛着を育み、仲間を大切にし思いやりのある児童生徒の育成を図ります。
- 学校運営の充実と危機管理体制の強化を図り、児童生徒が安心して学び生活できる安全な教育環境づくりを推進します。

基本目標 2

文化芸術の振興と地域文化の保存・継承・創造を推進します

- 質の高い文化や芸術に気軽に触れることのできる機会を充実させることで、豊かな感性や創造性を育み、文化芸術活動の活性化を図ります。
- 地域に受け継がれてきた伝統芸能や文化財、歴史資料などの保存と継承に努めるとともに、それらの積極的な活用を通じて地域文化の魅力を発信します。
- 揖斐川町独自の伝統文化に触れ、学ぶ機会を創出することで、こどもたちの郷土への理解と愛着を深め、次世代への継承につなげます。

基本目標 3

生涯学習、生涯スポーツの推進を図ります

- こどもから高齢者まで、誰もが主体的に学習活動に参加できるよう、地域の特色や資源を生かした生涯学習環境の充実を図ります。
- 総合型地域スポーツクラブなどの活動を通じて、各世代が気軽にスポーツに親しみ、健康づくりや交流を深める機会の充実を図ります。
- 地域活動や学習活動を通じて、人と人とのつながりを広げ、学びの成果や経験が地域課題の解決や地域づくりに生かされるよう、継続的な活動の場を提供します。